

農 大

令和8年8月1日発行

愛知県立農業大学校

令和8（2026）年度版



だより

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1-2

Tel : 0564-51-1601 Fax : 0564-51-4831

E-mail noudai@pref.aichi.lg.jp

ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/>



CONTENTS

- 1 専攻紹介
切花専攻
- 2 特集
入学して思うこと
就農希望者向け研修
- 3 専攻トピックス
- 4 学校行事トピックス
外部評価委員会
農学科後援会専攻見学・懇話会
終業式ほか
- 5 お知らせ
オープンキャンパス
入試情報
- 6 クラブ紹介
野球 バレーボール
- 7 SNS 投稿 diary

愛知県立農業大学校
公式HP



Instagram



X (旧 Twitter)



専攻紹介

切花専攻

切花専攻には、全国一の花の生産額を誇る愛知県の未来を担う学生9人が在籍しています。日々、“少数精鋭”を合言葉に、花の魅力を身近に感じながら、明るく楽しく実習に取り組んでいます。

学生は3つの部門（キク班、バラ班、洋花班）に分かれ、キク、バラ、ヒマワリ、ストック、カーネーション、ケイトウ、ガーベラなど多様な品目・品種の花を栽培しています。5棟の温室（総面積1,500m²）と露地圃場（500m²）で、年間およそ6万本の切花を栽培します。

栽培した切花は、毎週水曜日の実習販売や毎年12月に行われる農大祭で販売しています。可愛いラッピングを施したミニブーケや、キク、ケイトウ、ヒサカキなどを組み合わせた仏花が人気です。また、入学式や卒業式では、日ごろの実習の成果を存分に発揮して学生自ら壇上の会場装飾を担当し、式典を華やかに彩っています。

実習販売の様子



キク班



需要期（物日）にあわせた電照栽培を基本とし、露地では小ギクも栽培しています。
今年度は、県育成品種を中心に複数の品種を栽培します。
さらに農大祭に向けて、フラワーアレンジに活用できるポンポンギクにチャレンジします！！

【栽培品目】
輪ギク、スプレーギク、小ギク



バラ班



ロックウール培地を用いた養液栽培を行っており、アーチング方式や改良切り上げ方式で管理しています。
改植の時にはカタログを見ながら自分たちで品種を選びます。昨年度は、黄色のスプレーバラ「イエローベイブ」を導入し、バリエーションが増えました。

【栽培品目】
スプレーバラ、スタンダードバラ



洋花班



洋花班では一年を通して様々な品目の花を育てるため、多くの知識や経験が身につきます。
ストックの八重率向上のほか、ヒマワリの採植密度の比較などプロジェクト課題に取り組んでいます。

【栽培品目】

ヒマワリ、ストック、カーネーション、ケイトウ、ペニバナ、スターチス、ハボタンなど



収穫・出荷



毎日の実習は、栽培した花の収穫から始まります。
月・木・金曜日には、市場出荷のため、収穫した花を切り揃えて束にします。多い日は、1日 1,500 本の花を出荷することもあります。



圃場の整地（露地）



入学式での壇上の花



プロジェクト活動（花芽検鏡）



農大祭で恒例の花販売



農産加工演習



フラワーアレンジメント演習



特集

2026 入学生 農大に入学して思うこと (前編)

2026 年度の入学生 (1 年生) に、「農業大学校に入学したきっかけ」や「卒業後の進路」などを聞いてみました。8 月号と 9 月号の 2 回に分けて紹介します。

Q 農業大学校に入学しようと思ったきっかけは？

中田 心望 (鉢物・緑花木専攻)

私は将来なんとなくですが、植物に携わる仕事をしたいと考えていました。インターネットやパンフレットなどで調べると、植物についてよく学べると知って農業大学校に入学しようと思いました。



手嶋 悠人 (作物専攻)

小中学生のころから自然が好きで、高校も農業高校に進学し、より農業の深い部分を体験したいと思った。



中川 恵里花 (果樹専攻)

高校で農業を学ぶ中で、シャインマスカットに興味を持ちました。もっと専門的にぶどう栽培を学び、将来はぶどう農家として独立したいと思い入学しました。



間瀬 滯菜 (露地野菜専攻)

非農家だけど農業高校出身で、海水農業を広めつつ、農地の再生を実践していくために農業大学校で専門的な知識や技術をつけたくて入学しました。



志田 光 (施設野菜専攻)

将来は農業に関わる職業に就きたいと思っていて、農大でより知識をつけたかったためです。



若松 ゆず (酪農専攻)

高校で牛と関わっていくうちに、牛についてもっと学びたいという気持ちが強くなっていました。そのため、より専門的な知識を身に付けられ、実践的に学ぶことができる農大に魅力を感じ、入学を決めました。



杉浦 哲真 (養豚・養鶏専攻)

高校では調理を学び、これまでは食材を扱う立場でした。しかし、「今度は食材を作る側になりたい」と思うようになり、農業大学校への入学を決めました。



Q 学生寮の生活はどうか？

中田 心望（鉢物・緑花木専攻）

私は県外出身のため親元を離れるだけでも不安だったのですが、未知の土地や方言が重なり不安は更に大きくなりました。しかし、優しい友達に恵まれたおかげで、今は楽しく過ごせています。



手嶋 悠人（作物専攻）

家で暮らすのとはかなり違って、朝起こしてくれる親はいないし、最初は「朝起きられないかも」とか「洗濯うまくできないかも」という心配があったけど、意外となんとかなって自由もまあまああって良い。



中川 恵里花（果樹専攻）

最初は慣れない生活で不安もありましたが、仲間と助け合いながら過ごせています。規則正しい生活ができ、実習にも集中しやすい環境です。



間瀬 滯菜（露地野菜専攻）

寝る前はたまに夜更かしをしてしまうけど…それくらい安心感が増えてきた！お風呂の時間とかも長くて、とても助かるし、各部屋に Wi-Fi がついているから便利！



志田 光（施設野菜専攻）

家にいたときより自分でやらなといけないことが増えたので自主性が多少、養われたと感じます。



若松 ゆず（酪農専攻）

友達とおしゃべりしたり、一緒に勉強したりして、楽しく過ごしています。一緒にいる時間が長いので、仲を深めやすいです。また、部屋は個室のため1人の時間を楽しむことができるのも良いポイントです。



杉浦 哲真（養豚・養鶏専攻）

寮生活では、自宅にいるときよりも規則正しい生活を送ることができています。また、共同生活を通して、ルールを守ることの大切さや周りの人への気配りなど、多くのことを学んでいます。



Q 農業大学校に来て良かったことは？

中田 心望 (鉢物・緑花木専攻)

講義と実習が同じくらいの時間があるので、講義で学んだことを実践的な実習で生かすなど、インプットとアウトプットがすぐできることが良いと思います。また、寮が学校内にあるので、高校生の時よりもいっぱい寝られます。



手嶋 悠人 (作物専攻)

ここでしか出会えない面白い先輩、友人が出来て、面白い学校生活になりそうで楽しい。



中川 恵里花 (果樹専攻)

実習が多く、教室では学べない技術を実際に体験できることです。同じ夢を持つ仲間と一緒に学べるので、お互いに刺激を受けながら成長できます。



間瀬 滯菜 (露地野菜専攻)

夜型体質をなおすことはできなかったけど、寮のご飯は美味しいです！



志田 光 (施設野菜専攻)

3食しっかりとご飯が食べられて規則正しい生活が送れていることです。



若松 ゆず (酪農専攻)

実習や当番が多いことから、友達と会話する時間が多く、寮と一緒に過ごす時間が長いため、仲を深めやすいところが来て良かったことです。



杉浦 哲真 (養豚・養鶏専攻)

実習を通して、実際の養鶏業について学ぶことです。以前は調理で当たり前のように卵を使っていましたが、実際に鶏を飼育してみると、卵を生産することの大変さや生産者の苦労を実感できました。



研修紹介

新規就農希望者向け研修

農業大学校では、新規就農希望者向けに、「ニューファーマーズ研修」、「農業技術研修」の2つの長期研修を実施しています。

これらの研修を修了した多くの方が県内各地で就農し、活躍しています。

① ニューファーマーズ研修

ニューファーマーズ研修は、愛知県内で農業経営を目指す方を対象としており、修了生のほとんどが経営主として新規就農しています。農業大学校では、農業簿記や労務管理などの講義を行い、就農予定地域の先進農家で農場実習を行うことにより、農作物の栽培技術と農業経営に必要な基礎知識を習得します。

今年度の研修は4月16日から来年2月25日までの約10か月間実施します。この間「講義」は月4回程度で約150時間、「実習」は940時間以上行います。さらに、目標所得を達成するために必要な設備や収支について発表し合うディスカッション等も行っています。遠方から受講する研修生の利便性を考慮して、農大で実施する講義のうちオンライン配信が可能なものは、自宅でも受講できます。

研修生の希望品目は野菜ではイチゴやナス、レンコン等、果樹ではブルーベリーやイチジク等様々です。また、有機農業を希望する研修生も複数います。研修生は現在就農に向けて着々と準備を進めています。

この研修は各地のJA等が取り組んでいる新規就農者育成事業と連携して実施しています。今年度は16名の受講生うち5名が、こうした育成事業からの研修生です。



グループディスカッションの様子

② 農業技術研修

農業技術研修は、離職者を対象とした公共職業訓練に位置づけられた研修で、農業法人等への就職や新たに農業を始めるために必要な農業の基礎的な知識・技術の修得を目的としています。

今年度の研修は、5月8日から始まり、来年1月28日までの約9か月間、29名が露地野菜を中心とした栽培実習に取り組み、栽培に係る講義を受講しています。研修日は月曜日から金曜日の週5日、「講義」は約200時間、「実習」は約700時間行います。

実習では、ナスやピーマンの誘引、せん定のほか小菊の挿し木作業など様々な作業を行っています。7月からは生産物の市場出荷に加え、本校学生の実習販売日に合わせて、収穫したナスやトマト、スイカなどを直接販売する実習も始まり、消費者の声を直接聞く機会も加わりました。

また、「校外学習」において、各品目の先進農家や本研修の修了生で自営就農を果たした先輩農家や農産物直売所の視察などを行っています。



キュウリのネット張り



トラクター運転の実習

専攻トピックス

最近の各専攻で話題になったことや実習風景などをお届けします！



鉢物・緑花木

鉢物・緑花木専攻の主要品目であるシクラメンは、秋から冬にかけて販売する品目です。

現在は立派なシクラメンを育てるため、株中央の葉を外側へ動かして中心部にスペースを作る「葉組み」を主に行っています。9月まで暑さが続いているますが、学生は立派なシクラメンになるように日々の作業を頑張っています。12月の農大祭ではたくさんのシクラメンを出荷・販売する予定なのでぜひ見に来てください！



農大祭に向けてシクラメンを頑張って作っています！！



洋花農家さんから学ぶ

切花専攻では、2年生が校外学習で知多地域の洋花農家を視察しました。

視察した「ブルーム東海」はユリを中心に様々な品目を需要期に合わせた作付けをしており、学生は興味深く話を聞いていました。

また、フラワー装飾技能士1級をもつ社員がフラワーアレンジを作って付加価値をつけるなど、販売の工夫についての話も聞くことができ、大変有意義な時間になりました。





夏休みの実習

夏休み中に講義はありませんが、野菜の管理を行うため1年生の当番は実習を行います。

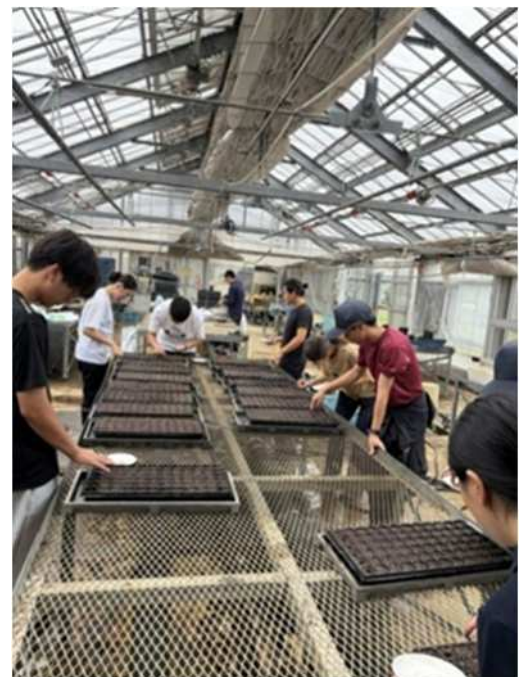
普段の実習では2年生の専攻長が中心となり、毎日の作業の分担や流れを学生同士で話し合って確認し進めていました。しかし、夏休みは1年生のみで話し合いをしています。初日は話し合いに慣れていないこともあって、少し戸惑った様子でした。夏休みにどんどん話し合って、活発に話し合いができるようになることを期待しています。



次作のトマトを播種しました！

昨年度からのトマト栽培が終了し、ハウス内を片付けつつあります。その一方で、次作に向けてトマトの播種を行いました。これまでは2年生中心の栽培管理でしたが、これからは1年生のプロジェクトに切り替わるため、1年生が主役になります。

みんなのプロジェクトが始められるように育苗期からしっかり管理していきましょう！





水稻無農薬無化学肥料栽培技術を学ぶ

7月10日（金）、作物専攻2年生6名は、校外学習として豊田市の農事組合法人中甲とのだみそ（株）を訪問しました。

農事組合法人中甲では、組織の概要と有機JAS認定の無農薬無化学肥料栽培について説明を受けるとともに、実際のは場を見せていただきました。作物専攻では、本年度も校内の水田で無農薬無化学肥料栽培を実施していますが、雑草の抑制、効率的な施肥法等の問題点を抱えています。中甲では、遥かにレベルが高く、これらの問題点に対処されており、非常に参考になりました。

のだみそ（株）では、いかに消費者の心を掴むかという視点で、社長から説明を受け、学生たちも真剣に拝聴していました。

今回の校外学習が今後の各自の学習に活かされることを期待しています。



今年もたくさんの果物の販売がスタートしました！

6月から始まった収穫、初夏の光を浴びたブドウやナシなどの果実を見ると、今年も豊作の予感がします。丁寧に摘み取った果物は甘みが強く、格別の味わいです。自然の恵みに感謝し、この旬の美味しさを心ゆくまでに楽しみたいと思います。

学生が作った果物を買いに来てください！





今年の夏も厳しいです

乳牛は暑さに弱い動物です。愛知県の過酷な夏を乗り切るためには、暑熱対策が非常に重要になります。そこで、2年前に牛舎内へ細霧装置を導入し、乳牛の暑熱ストレスの低減を図りました。

今年度は、更に暑熱対策を進めるため、換気扇の高さを低くし、牛体に風が直接当たるように角度を調整しました。その効果なのか、昨年の夏よりもベッドで快適に寝る牛が増えたように感じます。無事にこの夏を乗り切れるように、しっかりと管理を行っていきたいと思います。



ウィンドウレス鶏舎のケージシステムが新しくなりました

養鶏専攻には、雛を育てる「育雛舎」、成鶏を飼養する「開放鶏舎」と「ウィンドウレス鶏舎」の3種類の鶏舎があります。

このたび、ウィンドウレス鶏舎の採卵鶏用ケージシステムを更新しました。新しい設備の導入により、給餌や給水、集卵などの作業がしやすくなり、より衛生的で安定した環境で実習を行えるようになりました。

養鶏専攻では、鶏の飼養管理から卵の生産・出荷までを実践的に学んでいます。今回の設備更新は、学生たちが現在の採卵養鶏で活用されている設備や管理方法を学ぶよい機会となります。今後も新しい設備を活用しながら、養鶏に関する知識や技術を身に付け、将来の畜産業を支える人材として成長していくことが期待されます。



学校行事トピックス

令和8年度外部評価委員会を開催

6月9日(火)に、本校の教育研修基本計画における令和7年度の実績及び令和8年度の実行計画について外部の有識者等に評価していただく「外部評価委員会」を開催しました。

本校の中長期計画である「教育研修基本計画 2030」のめざす姿である農業の未来を担う人材の確保・育成を進めるため、各委員からいただいた御意見や御助言を今後の取組に活かし、教育や研修の向上に努めてまいります。

なお、評価結果については、本校ウェブページに掲載する予定です。

外部評価委員からの主な意見

- ・地域イベントやボランティアに学生が参加することは、社会性の向上に有効なため、引き続き取り組んで欲しい。
- ・高校生等の若者は SNS をよく見ているので、できるだけ更新すると良い。
- ・学生のニーズをふまえた学習内容、技術革新に対応するため、企業等と連携して欲しい。
- ・寮生活は貴重な体験となるため、全寮制を農大の魅力として発信して欲しい。
- ・就農相談ツールが活用しやすくなった。より充実させて欲しい。

外部評価委員メンバー

- ・龍谷大学農学部教授 淡路和則氏
- ・本校同窓会長 野田留美氏
- ・安城農林高等学校長 橋本具征氏
- ・農業生産法人(株)中甲社長 杉浦俊雄氏
- ・JA あいち中央会営農・くらし支援部部長 伴敬介氏
- ・中日新聞事業局事業統括部次長 池口真美氏



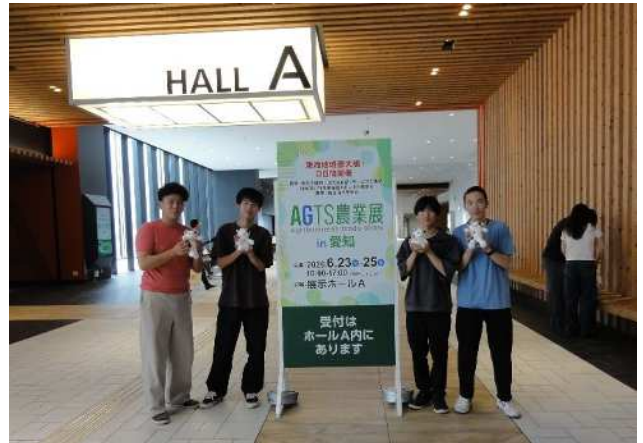
AGTS 農業展での校外学習

6月23日（火）、全校学生（参加者176名）が校外学習でAGTS農業展に出かけました。この展示会は、スマート農業技術を始めとした最先端の農業技術やサービスに関する展示会で、愛知県で開催されるのは2年連続で2回目となり、学生は幸運にも2年連続で最先端の農業技術等を学ぶ機会を得ることができました。

会場では最新のスマート農業技術に関する展示だけではなく、本校や農林高校の紹介ブース、農業女子プロジェクトに関する紹介ブースなど幅広い分野での展示や専門家によるセミナーなどがあり、学生は熱心に見学しており、質問する学生もいました。

中には大型トラクタの運転席に試乗した学生もあり、「私もこんなトラクタが運転できるかな」と話すなど、大いに刺激を受けていたようです。

農大では、このように学生がスマート農業技術を始めとした最新の農業技術を学べる機会を作っていけるよう、取り組んでいきます。



第1回進路セミナー、エントリーシート作成セミナーを開催

6月26日（金）、1年生全員を対象に第1回進路セミナーを開催しました。

今回は講義で、就職活動の心構え、職業選択のための準備、就職活動の流れなどについて学びました。講義後には「就活が始まるのが思ったより早い」「卒業後の進路が幅広い、国外研修もある（先輩が行っている）」「正社員とフリーターとの収入格差に驚いた」といった声が聞かれました。進路セミナーは、1年生を対象に来年2月までに計5回開催する予定です。

また、7月6日（月）及び7日（火）には、希望する2年生対象にエントリーシート作成セミナーを開催しました。

これまでの自分の学生生活などから、自己PRやガクチカ（学生時代に力を入れたこと）に何を書くかピックアップし、ブラッシュアップすることで、採用担当者の目に留まるエントリーシート作成を行いました。このエントリーシートとともに夏休み中も進路決定に向けて就活を続けます。



農学科後援会専攻見学・懇話会を開講

7月9日（木）に後援会主催で専攻見学及び懇話会が開催されました。

当日は、学校からの近況報告や、普段、見ることができない校内での学生の様子を見学し、懇話会では教職員も含め後援会会員同士の親睦を深めました。



終業式

4月の始業から3か月間が経過し、過酷な暑さの夏がやって来ました。農業大学校も夏休みに入り、講義などは9月までありません。

区切りに7月17日（金）、午後から全員で寮の大掃除を行い、その後、終業式を行いました。加藤校長からは、始業式で伝えた①ルールを守る ②思いやりを持つ ③毎日を充実させる ことについての再確認の話がありました。また、学生たちの頑張りや、努力、成果について感謝を伝えられました。その後、各担当の先生から学習の様子、生活における注意、進路に向けた取組の話がありました。

教育部長からは安心・安全な実習を目指すための注意喚起があり、一学期を振り返り、次の農大生活に向けた終業式となりました。（写真は平田教育部長講話の様子）

これからいよいよ夏季休業が始まります。農家派遣実習を先行して行う学生も、当番実習を行う学生も、将来の目標に向けて充実した期間になるよう期待しています。



農業体験研修を開催

就農検討段階にある就農希望者を対象に、実際の農業を理解していただくため、農業体験研修を6月26日(金)に開催し、7名の参加がありました。

講義では、露地野菜(キュウリ、スイカ、カボチャ、ピーマン、サツマイモ)の作付体系、品種、耕うん、土壌調整、うね立て、基肥、定植、整枝(キュウリ、スイカ)等について学んだ後、実習では、梅雨の雨が降るなか、ほ場へ移動して、キュウリの誘引、カボチャへの敷きわら作業を体験しました。

研修後に実施したアンケートで研修内容の評価、満足度は、ほぼ全員から非常に良い、大変満足の高い評価をいただきました。改善点では、「実習時間を増やしてほしい」との意見が多く、今後の研修は、実習時間を増やして実施する予定です。



お知らせ

Open Campus 2026

本年度も、下記の日程で5回開催します。本校の学生も参加して交流を深める機会もあるので、入学に関心がある方はぜひご参加ください！

6/6 終了 7/28 火 8/25 火 2027 2/6 火

9:40～12:00 受付開始/9:20～

作業体験有

日 程 (2/6 は除く)

9:40～ オリエンテーション、農業大学校の概要説明
10:20～ キャンパスツアー
11:20～ 在校生との交流
11:50～ 受験相談等(希望者のみ)

参加申込みは
HPから

● 事前に参加申し込みが必要です。

※ 詳細は本校ホームページを御覧ください。

愛知農大



お知らせ

令和9年度入学者選抜試験

● 一般推薦入学試験

出願期間 9月29日(火)～10月15日(木)

試験日 10月30日(金)

合格発表 11月11日(水)

試験科目 小論文(800字以内) 面接試験

募集人員: 定員100名のうち2/3程度

● 一般入学一次試験

出願期間 11月10日(火)～11月25日(水)

試験日 12月8日(火)

合格発表 12月17日(木)

試験科目 数学Ⅰ、小論文(800字以内)、面接試験

募集人員 定員100名の内、推薦入学合格者を除く数

※ 詳細は、本校ホームページを御覧ください。

願書
受付中!

クラブ活動紹介

農大では、授業後の余暇時間を活用して、学生主体でクラブ活動が行われています。クラブは全部で14クラブ。
今月は「野球部」と「バレーボール部」を紹介します。

野 球 部

部 員 数 13名
活動日時 月曜日～木曜日
16:10～
活動場所 グラウンド

こんにちは、野球部です。毎週月曜日から木曜日まで農業大学校のグラウンドにてキャッチボールやバッティングなどいろいろな練習を行っています。

毎年開催される東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会ではここ数年連覇を成し遂げています！

初心者の方でも経験者の方でも結構ですので、野球部に入部して青春しませんか？



バレーボール 部

部員数 17名
活動日時 木曜日と金曜日
18:00～ 21:30
活動場所 体育館

こんにちは!!バレーボール部です。毎週木曜日と金曜日の2日間活動しています。みんなで練習や試合をして楽しんでいます!!また他県の農業大学校と交流試合があり、ガチ試合があるので熱い試合ができます!!

部員は農大から始めた人もいるので初心者でも大歓迎!!専攻関係なく楽しめるので、新しい友達や良い先輩、そしていい出会いがあるかも!!

楽しい農大生活を送りましょう!!



SNS 投稿 diary

農大公式アカウント: Instagram・X(Twitter)
アカウント名 **[aichinou dai]**

Follow Me !!



通番 (投稿日) 内容

- 37 (7月1日) ヒマワリを飾りました
- 38 (7月3日) 苔玉を作りました
- 39 (7月6日) 校外学習で食の安全を学びました
- 40 (7月7日) 寄せ植えの観葉植物を飾りました
- 41 (7月8日) スイカを販売しています
- 42 (7月10日) スイカの収穫期を迎えました
- 43 (7月16日) イチゴのポット受けを行いました
- 44 (7月17日) ケイトウの収穫が始まりました
- 45 (7月17日) 白ギクを飾りました
- 46 (7月21日) 第1回農大祭実行委員会を行いました
- 47 (7月21日) 1学期の終業式です
- 48 (7月21日) パンジーとビオラの播種作業です
- 49 (7月22日) 大特免許研修を開催しました
- 50 (7月22日) 酪農専攻のPR動画です
- 51 (7月23日) 大特免許の出張技能試験を行いました
- 52 (7月27日) トマトの播種を行いました
- 53 (7月28日) 海外派遣研修の事前説明会を行いました
- 54 (7月28日) 刈払機研修を実施しました

